

令和3年4月23日（金曜日）

地球温暖化の適応策訴え

足立参院議員 参院国交委で質疑



自民党の足立敏之参院議員は22日の参院国土交通委員会で、審議中の「流域治水関連法案」について質問

した。写真。水害・土砂災害の頻発化に対する地球温暖化の影響を確認した上で、「地球温暖化対策と言ふと（温室効果ガスを削減する）緩和策に目が行きがちだが、（防災対策などの）適応策も重要な課題だ」と強調した。

流域治水の考え方を問われた赤羽一嘉国土交通相は、河川の流域全体を俯瞰（ふかん）して治水対策を計画的に進める重要性を指摘し、「河道掘削など河川の中だけでなく、周辺地域の開発の仕方や居住地の移

転なども対策に含まれる。ハードだけでなくソフトも加え、避難の在り方なども含めたプロジェクトにしなければいけない」と答弁した。

足立氏は関連法の改正で、洪水の危険に起因する防災集団移転事業のエリア要件が拡充される影響などを質問。地域住民の避難行動を助けるハザードマップやマイ・タイムラインの普及に向け、3Dデータや人工知能（AI）を活用し、より詳細に住民視点で情報提供することも訴えた。